

日本野球機構及び各球団が行う社会貢献活動に関する研究

A study of contributive activities to society NPB and professional baseball teams do

1K06B501

石神 双葉

指導教員 主査 間野 義之 先生

副査 原田 宗彦 先生

1. 研究背景

プロスポーツは、経済活動を行う主体である点では、一般企業と同じ立場である。したがって、昨今の企業による CSR を意識した社会貢献活動を重視する流れが、プロスポーツにも波及すると考えられる。実際に、1993 年に誕生した J リーグが「地域社会に根ざしたスポーツクラブづくり」という理念を掲げ、積極的に社会貢献活動を行っている。一方、人気低迷を指摘されていた日本野球機構でも、2008 年から「NPB Green Baseball Project」を掲げ、環境問題に取り組んでいる。しかし、ほとんどの地域住民やファンは、各球団がどのような社会貢献活動を行っているのかを知らない。さらに、多くの球団が社会貢献活動の意義や目的を熟知していないのが現状である。

2. 研究目的

社会貢献活動とは何かを定義するために、その歴史を調査する。

日本野球機構及び各球団が行う社会貢献活動を、日本経団連社会貢献推進委員会が定める活動領域と活動形態によって分類し、実情を明らかにする。また、その結果から、日本野球機構における社会貢献活動の意義と課題を考察する。

3. 研究方法

本研究では、第一に、我が国における社会貢献活動の定義や歴史、特徴などを明らかにするために、CSR や社会貢献に関する書籍を用いた

調査を行う。

第二に、NPB が行う社会貢献活動の実情を探るために、日本野球機構及び各球団の公式ホームページからその実施状況を調査し、その意義と課題を考察する。

4. 研究結果

日本野球機構及び各球団における社会貢献活動の活動領域は、主に「スポーツ」、「教育」、「地域社会への貢献」の 3 種類である。次いで日本野球機構が掲げる「環境」に関する活動である。活動形態は、日本野球機構が寄付行為を行っているものの、各球団は主に「自主プログラム」と「従業員の社会参加支援」という形態をとっている。「自主プログラム」については、日本野球機構の各球団が取り入れている。

5. 考察

本研究では、日本野球機構及び各球団が行う社会貢献活動を文献研究によって分類し、その実情を明らかにした。「スポーツ」と「教育」に関する活動は、具体的には野球教室や指導者講習である。これは、選手や OB が本業で得たスキルやノウハウを用いている点で最も合理的な活動であると言える。「地域社会への貢献」に関する活動は、「地域に根ざしたスポーツ」を理念に掲げた J リーグの影響が大きいだろう。「環境」に関する活動は、2008 年から日本野球機構が環境省の「チームマイナス 8%」に賛同し、「NPB Green Baseball Project」を始めたことが影響していると考えられる。

社会貢献活動を行うことは、球団が社会的責任を果たし、本拠地の住民などステークホルダーから理解と共感を得て、関係を円滑にしたり、選手たちのキャリアを豊かなものにすることに寄与する。しかしながら、十分な情報公開を行っている球団はまだ少ない。今後は、各球団がホームページにCSR レポートのような形で情報を公開することなどが期待される。